

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 日本ペイント株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 上岡 晃

TEL 06-6455-9153

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	160,037	△15.9	7,464	44.3	9,872	41.2	6,912	23.2
21年3月期第3四半期	190,385	—	5,171	—	6,991	—	5,612	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	26.09	—
21年3月期第3四半期	21.19	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	272,397	125,464	43.0	442.30
21年3月期	248,765	116,871	44.0	413.04

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 117,162百万円 21年3月期 109,419百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
22年3月期	—	2.00	—		
22年3月期 (予想)				2.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	△9.4	9,000	194.0	11,900	225.6	8,100	349.3	30.58

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務情報等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 265,402,443株 | 21年3月期      | 265,402,443株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 505,798株     | 21年3月期      | 490,861株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 264,904,787株 | 21年3月期第3四半期 | 264,930,337株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、5ページ【定性的情報・財務情報等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報、及び平成22年2月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策の効果などにより、景気の持ち直しの兆しがみられたものの、依然として、雇用情勢の悪化や設備投資の低迷は続いており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済環境のもと、塗料業界の国内塗料需要につきましては、出荷数量、出荷金額とも前期を下回りました。

また、海外については、アジアでは景気の持ち直しの動きが広がっており、特に中国ではいち早い改善がみられました。また、米国でも景気回復の兆しをみせつつあります。

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、塗料需要が低迷するなか、連結売上高は1,600億37百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

一方、連結営業利益は、販売数量が大幅に減少したものの、原材料価格が前年同期に比べ下落したことに加え、「サバイバル・チャレンジ」のもと、緊急対策として人件費、経費などのコスト削減に努めました結果、74億64百万円（前年同四半期比44.3%増）となりました。また、中国を中心に持分法投資利益が大幅に拡大したことなどにより、連結経常利益につきましては98億72百万円（前年同四半期比41.2%増）、連結四半期純利益につきましては69億12百万円（前年同四半期比23.2%増）となりました。

事業の種類別セグメントの売上高は、塗料事業が1,507億73百万円（前年同四半期比16.4%減）、ファインケミカル事業が92億64百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

## 《塗料事業》

## ＜自動車用塗料＞

自動車用塗料の売上高は、国内外で、自動車の販売奨励策がとられましたものの、前年同四半期までの生産台数の回復には至らず、481億24百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

## ＜汎用塗料＞

汎用塗料の売上高は、建設用塗料分野や重防食塗料分野において、環境配慮型商品の推進をはかりましたものの、住宅や民設プラントなどの新設着工需要の低迷により、333億87百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

## ＜工業用塗料＞

工業用塗料の売上高は、輸出など景気に一部回復傾向がみられましたものの、依然、設備投資の減少や建材市況の低迷が続いたことにより、277億92百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

## ＜その他塗料＞

その他塗料の売上高は、船舶用塗料分野や道路用塗料分野は堅調に推移したものの、自動車補修用塗料分野、塗装設備工事分野などで売上が減少したことから、414億70百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

## 《ファインケミカル事業》

ファインケミカル事業の売上高は、表面処理剤分野、ファインプロダクツ分野とも、依然として需要低迷の影響を受けました結果、92億64百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

所在地別セグメントの状況は次のとおりであります。

《日本》

当初の想定に比べて回復の兆しはあるものの、売上高は1,369億93百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。一方、緊急対策として人件費や経費などのコスト削減に取り組みました結果、営業利益は78億18百万円（前年同四半期比68.3%増）となりました。

《アジア》

景気持ち直しの動きは広がっているものの、売上高は213億30百万円（前年同四半期比12.1%減）、営業利益は14億80百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

《北米》

景気に回復の兆しをみせつつあるものの、自動車生産台数が減少した影響により、売上高は95億38百万円（前年同四半期比35.1%減）となりました。一方、人員削減等のリストラを着実に実行しましたが、営業損失は16億39百万円（前年同四半期は10億56百万円の損失）となりました。

《その他の地域》

売上高は18億92百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失は1億56百万円（前年同四半期は66百万円の損失）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### （資産・負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ236.3億円増加して2,723億97百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ212.3億円増加しておりますが、その主な要因は、コスト削減に取り組んだことによる収益の拡大や新規借入の実施により現金及び預金が増加したほか、販売が回復基調にあることに加え、当第3四半期連結会計期間末が休日であったことで売上債権が増加したことによるものです。

固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ24.0億円増加しておりますが、その主な要因は、有形および無形固定資産が減少した一方で、株価の上昇に伴い保有する株式の評価替えを行ったことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ150.4億円増加し1,469億33百万円となりましたが、その主な要因は、当第3四半期連結会計期間末が休日であったことなどによる仕入債務の増加や、新規借入を行ったことなどによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85.9億円増加し、1,254億64百万円となりましたが、その主な要因は、利益が順調に回復したことや、保有株式の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の44.0%から43.0%へ低下いたしました。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間は、営業活動により106億76百万円の資金収入、投資活動により61億63百万円の支出、財務活動により27億68百万円の収入、結果として現金及び現金同等物（以下「資金」という）は244億43百万円となり、前連結会計年度末より74億12百万円増加いたしました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動のキャッシュ・フローは106億76百万円の収入となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非現金支出費用等を加味したキャッシュ・フローの収入

の増加121.2億円と運転資本（売上債権・たな卸資産・仕入債務）の増加による支出の増加14.4億円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は61億63百万円となりました。主な内容としては、有形固定資産および投資有価証券の取得に62.8億円を支出したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は27億68百万円となりました。主な内容としては、配当金の支払いに10.8億円支出した一方で、借入金の増加による収入39.6億円があったことによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成21年11月10日に公表した数値を修正しております。

詳細につきましては、平成22年2月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等については、当第3四半期連結会計期間を含む年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,443	17,030
受取手形及び売掛金	80,980	68,992
たな卸資産	24,889	24,364
繰延税金資産	2,575	2,146
その他	4,486	3,570
貸倒引当金	△806	△769
流動資産合計	136,569	115,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,156	27,233
その他(純額)	39,180	41,930
有形固定資産合計	68,336	69,164
無形固定資産		
のれん	13,356	13,980
その他	5,776	6,536
無形固定資産合計	19,132	20,517
投資その他の資産		
投資有価証券	39,777	32,120
繰延税金資産	2,693	4,027
その他	6,453	8,114
投資損失引当金	△27	△27
貸倒引当金	△539	△487
投資その他の資産合計	48,358	43,747
固定資産合計	135,828	133,429
資産合計	272,397	248,765

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,066	49,005
短期借入金	33,765	30,385
リース債務	143	95
未払法人税等	2,104	953
繰延税金負債	9	6
その他	12,637	13,323
流動負債合計	108,727	93,771
固定負債		
長期借入金	22,192	21,619
リース債務	428	358
繰延税金負債	1,935	2,311
退職給付引当金	8,795	8,877
役員退職慰労引当金	272	340
環境対策引当金	118	118
関係会社事業損失引当金	38	38
製品保証引当金	659	576
その他	3,765	3,880
固定負債合計	38,206	38,122
負債合計	146,933	131,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	70,969	65,116
自己株式	△212	△205
株主資本合計	125,656	119,811
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	782	△1,221
繰延ヘッジ損益	△1	△5
為替換算調整勘定	△9,274	△9,164
評価・換算差額等合計	△8,493	△10,392
少数株主持分	8,301	7,452
純資産合計	125,464	116,871
負債純資産合計	272,397	248,765

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	190,385	160,037
売上原価	132,969	107,502
売上総利益	57,415	52,535
販売費及び一般管理費	52,244	45,071
営業利益	5,171	7,464
営業外収益		
受取利息	72	35
受取配当金	536	231
持分法による投資利益	2,826	3,888
その他	888	504
営業外収益合計	4,323	4,659
営業外費用		
支払利息	710	608
為替差損	382	452
その他	1,409	1,190
営業外費用合計	2,503	2,251
経常利益	6,991	9,872
特別利益		
固定資産売却益	295	5
投資有価証券売却益	5	—
関係会社株式売却益	1,960	—
技術使用権譲渡益	750	—
貸倒引当金戻入額	59	57
その他	34	20
特別利益合計	3,105	83
特別損失		
固定資産除売却損	233	120
減損損失	76	244
たな卸資産評価損	405	—
投資有価証券評価損	155	8
その他	155	85
特別損失合計	1,027	458
税金等調整前四半期純利益	9,069	9,497
法人税等	2,780	1,660
少数株主利益	676	924
四半期純利益	5,612	6,912



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,069	9,497
減価償却費	6,597	6,630
減損損失	76	244
受取利息及び受取配当金	△608	△266
支払利息	710	608
持分法による投資損益(△は益)	△2,826	△3,888
有形固定資産除売却損益(△は益)	△61	115
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1,809	8
売上債権の増減額(△は増加)	△2,011	△11,629
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,725	△726
仕入債務の増減額(△は減少)	5,642	10,915
その他	△1,418	△170
小計	10,635	11,336
利息及び配当金の受取額	3,022	757
利息の支払額	△629	△540
法人税等の支払額	△2,484	△876
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,542	10,676
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,379	△5,515
有形固定資産の売却による収入	620	62
投資有価証券の取得による支出	△1,500	△757
投資有価証券の売却による収入	3,390	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△453	—
その他	△332	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,654	△6,163
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,744	△773
長期借入れによる収入	336	8,099
長期借入金の返済による支出	△3,370	△3,362
リース債務の返済による支出	—	△106
配当金の支払額	△2,119	△1,059
少数株主への配当金の支払額	△54	△21
その他	△13	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,478	2,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	△570	130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,840	7,412
現金及び現金同等物の期首残高	23,331	17,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,172	24,443

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	塗料事業 (百万円)	ファイン ケミカル事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	180,425	9,960	190,385	—	190,385
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	180,425	9,960	190,385	—	190,385
営業利益	4,061	1,109	5,171	—	5,171

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、内部管理上採用している塗料事業、ファインケミカル事業に区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

塗料事業 … 自動車用塗料、汎用塗料、工業用塗料、その他の塗料、塗装設備・施工工事 他

ファインケミカル事業 … 表面処理剤、ディスプレイ関連材料、電子材料、粒子材料 他

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	塗料事業 (百万円)	ファイン ケミカル事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	150,773	9,264	160,037	—	160,037
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	150,773	9,264	160,037	—	160,037
営業利益	6,343	1,120	7,464	—	7,464

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、内部管理上採用している塗料事業、ファインケミカル事業に区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

塗料事業 … 自動車用塗料、汎用塗料、工業用塗料、その他の塗料、塗装設備・施工工事 他

ファインケミカル事業 … 表面処理剤、ディスプレイ関連材料、電子材料、粒子材料 他

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	その他 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	151,461	22,655	14,169	2,099	190,385	—	190,385
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,763	1,622	527	11	9,925	(9,925)	—
計	159,224	24,278	14,696	2,111	200,311	(9,925)	190,385
営業利益(又は営業損失)	4,645	1,619	△1,056	△66	5,141	29	5,171

- (注) 1 国又は地域の区分の方法  
地理的近接度により区分しております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域  
アジア … 中国・韓国・台湾および東南アジア諸国  
北 米 … 米国他

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	その他 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	129,513	19,764	9,224	1,534	160,037	—	160,037
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,479	1,565	313	357	9,716	(9,716)	—
計	136,993	21,330	9,538	1,892	169,753	(9,716)	160,037
営業利益(又は営業損失)	7,818	1,480	△1,639	△156	7,503	(39)	7,464

- (注) 1 国又は地域の区分の方法  
地理的近接度により区分しております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域  
アジア … 中国・韓国・台湾および東南アジア諸国  
北 米 … 米国他

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	北米	欧州	計
I 海外売上高（百万円）	33,616	13,705	3,072	50,394
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	190,385
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	17.7	7.2	1.6	26.5

- (注) 1 国又は地域の区分の方法  
地理的近接度により区分しております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域  
アジア … 中国・韓国・台湾および東南アジア諸国  
北米 … 米国  
欧州 … ヨーロッパ諸国
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	北米	欧州	計
I 海外売上高（百万円）	28,732	8,799	2,211	39,743
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	160,037
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	18.0	5.5	1.4	24.8

- (注) 1 国又は地域の区分の方法  
地理的近接度により区分しております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域  
アジア … 中国・韓国・台湾および東南アジア諸国  
北米 … 米国  
欧州 … ヨーロッパ諸国
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## (1) 生産実績

(単位：百万円、百万円未満切捨)

事業の種類別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
塗料事業	92,405	72,966	112,533
ファンケミカル事業	3,564	3,936	4,505
合計	95,969	76,902	117,038

(注) 金額は製造原価で表示しており、消費税等は含まれておりません。

## (2) 事業部門別販売実績の状況

(単位：百万円、百万円未満切捨)

事業の種類別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
塗料事業	180,425	150,773	227,130
自動車用塗料	66,084	48,124	79,478
汎用塗料	35,225	33,387	45,017
工業用塗料	34,299	27,792	42,001
その他塗料	44,817	41,470	60,634
ファインケミカル事業	9,960	9,264	12,486
合計	190,385	160,037	239,616

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。